

JR連合

社員で考え社員のための労働運動を目指す企業内労働組合。
心とこころをつなぐ相互扶助活動と、公正な社会を創ります。

ジェイアール・イーストユニオン
仙台地方本部



JREユニオン仙台地本

〒984-0051 宮城県仙台市若林区新寺2丁目1-20 桜井コーポ405号室

TEL 022(352)4679 (FAX兼用)

発行責任者 添田 寿男
編集責任者 齋藤 勝彦



開会の挨拶をする
鈴木執行副委員長

ジェイアール・イーストユニオン仙台地方本部は、2月24日仙台市内において第5回地方委員会を開催した。佐藤好一委員長を議長に選出し、安全の確立、2019春季生活闘争勝利、統一地方自治体



第5回 地方委員会開催

選挙・参議院議員選挙必勝への取り組みなど当面する運動方針を満場一致で決定した。



委員会を成功裏に導いた
佐藤議長

添田執行委員長挨拶

(要旨)



仙台地方本部
添田執行委員長

2019春季生活闘争は、2月5日JR連合第31回中央委員会で方針が決定され、ジェイアール・イーストユニオンは2月12日中央委員会で具体的要求内容を決定し申し入れた。仙台地方本部としては、今春季生活闘争を民主化闘争、組織拡大・強化と連動した取り組みとして組合員全体の運動として確実に実行

委員会宣言

本日、私たち、ジェイアール・イーストユニオン仙台地方本部は、ホテルレオパレス仙台において「第5回地方委員会」を開催し、安全の確立、2019春季生活闘争勝利、組織強化・拡大、そして統一地方自治体選挙・参議院議員選挙必勝への取り組みなど、当面する活動方針を満場一致で決定した。私たちは、真の労働組合運動を押し進めるなかで、あらゆる運動を連動し、組織拡大につなげていかなければならない。

安全の確立は、労使にとって取り組むべき最優先課題であり、命題である。福知山線列車脱線事故、羽越本線列車脱線事故、飯山線大根原踏切事故、これらの事故で多くのお客様と通行車両の運転手の方がお亡くなりなされた。重大事故を教訓にし、決して風化させてはならない。労災死亡事故も無くなりたい。グループ会社と一体となった取り組みが重要である。私たち労働組合と会社の認識を同一にし、胸襟を開いた議論をさらに深めていく。

2019春季生活闘争は、JR連合の統一ペア要求3,000円の賃金改善を求めるとともに、月例賃金に関わる労働条件向上、夏季手当の要求満額獲得をめざしていく。底上げ・底支え、格差是正に向け、グループ会社への波及をはかり、JR東日本をはじめとするJRに働くすべての労働者のディーセント・ワークの実現と、魅力あるJR産業のさらなる発展をめざしていく。

JR東日本における民主化闘争は、昨年、大きく動いた。JR東労組の瓦解は、この間のJR連合の運動とともに闘ってきた私たちの成果でもあり、起こるべくして起きたことも事実である。しかし、現状は企業にとって正常とは言えない。多くの信用を失ったままである。一日も早く健全で建設的な労使関係の構築をはからなければならない。今こそ、私たちは、さらに一歩前に出た運動を一人ひとりが実践し、全体のカへと展開していく。

本年実施される、第25回参議院議員選挙比例区では、JR連合推薦候補予定者の「田村まみ」氏の当選と、統一地方自治体選挙では、組織内議員の「小野一雄」巨理町議会議員をはじめ、推薦・支持候補者の当選に向けて、総がかりの支援行動をはかっていく。

最後に、情勢は大きく変わった。変わらないのは私たちの信念である。会社とそこに働く者の明るい未来を創造する労働組合が、イーストユニオンである。私たちの運動に理解ある多くの仲間の結集を成し遂げるため、仙台地方本部は一丸となって突き進んでいく。

以上、宣言する。
2019年2月24日

ジェイアール・イーストユニオン
仙台地方本部
第5回地方委員会

昨年2月に始まったJR東労組の瓦解は、3万人以上の組合未加入者、組合不要論と不信論を生み出しました。JR東労組は昨年12月19日開催した第37回臨時大会で東京、八王子、水戸3地本と、本部、他9地本

の対立は決定的なものとなりました。また、高崎を中心とするJR東労働組合（JRひがし労）が結成され、各地方本部の結成の動きがあり、仙台地方本部は約50名となっています。

また、約7割が加入しているといわれる社友会は、現場管理者の負担増で不満が蔓延、会社側が抑え込みに入っているように見えます。会社はこの間矢継ぎ早に施策を発し、変革、進化と声高に叫んでいます。経営側だけで成し遂げられるものではありません。労使が一体となり議論し合い目標に向かい一致協

力してはじめて成し遂げられます。
私たちはこれまで施策に対し、真摯に向き合い議論し、より良いものを創ることを惜しみませんでした。

今年2月に仙台駅出札が業務委託されましたが、提案は平成27年11月20日でした。提案を受け組合員と議論し、翌年平成28年1月13日に申6号19項目を提出、お客様へのサービス向上、大量退職へ向けた雇用への取り組みを考慮し、4月1日実施へ向けた議論を実施する予定でしたが、一方JR東労組は、「委託の議論に入る前から具体的な教育が始まっている。駅業務委託に対する不信感、会社の姿勢に対する憤り、今後駅業務が縮小され職場が無くなる」など、2016年2月8日「仙台駅出札業務委託の中止・見直しを求める緊急申し入れ」を仙台支社長宛に提出しました。それからこの案件は止まり、今回の騒動により、会社から昨年5月に2月1日に実施すると通告が

なされました。その後JR東労組の申し入れを行ないましたが、たったの4項目でした。これ程無責任極まりない労働組合はありません。

昨年12月1日、加入した組合員は「会社施策をとともに進めるまともな労働組合がなければ施策は失敗する。職場を守る、創るには当たり前前の労働組合が絶対的に必要だ。会社発展のため、ご利用されるお客さまのため、働く人の幸福のためにとにも運動していく」と加入動機を述べました。

首都圏、新潟でも組織拡大が成されています。組織拡大の運動は一人ひとりが今できる事を確実に実行し、一歩ずつ進むことです。継続することが大切です。職場の仲間が大切です。職場の仲間が情報継続的に渡す。拒否されても渡す。愚痴、不満を見逃さない。職場の問題点解決の取り組みを行なう。分会へ報告する。そして地本へは何でも報告して下さい。それが労働組合の在り方です。それが安全の確立、技術継承につながり、明るい

職場を作ることになりません。

さて本年は選挙の年でもあります。小野一雄亙理町議会議員は4期目の挑戦で、組織内候補として組織を挙げて支援していきたいと思えます。また、夏には第25回参議院議員選挙が実施されます。

JR連合推薦候補者であり、また昨年の本部大会でU Aゼンセン組織内候補予定者の「田村まみ氏」を支持推薦していくことが決定されました。さらには、石田一也さんは太白区より藤原範典県議会議員の後継者として立候補を予定されています。仙台地本としても最大限の取り組みを進めたいと思いますので、組合員の皆さんのご協力をよろしくお願いいたします。

終わりに、この異常な状況は決してJR東日本の将来のためにはなりません。健全な労使関係を早急に創り、そこで働く者の幸せを実現するために、私たちの力が必要で、それを成し遂げるのは私たちジェイアール・イーストユニオンしかあ

りません。それを未加入者は待っています。私たちの力を見せつけようではありませんか。本日はよろしく願います。

佐藤委員からの発言



・ JR連合集会会加盟単組からジェイアール・イーストユニオンに対する熱い思いを聞き大変感銘を受けた。組織拡大を返していこう。

・ 最近発生した事象から、駅における安全の確立と業務委託の問題について。
・ 労働組合と社友会の違いを明確にして、イーストユニオンの運動を展開しよう。

・ 宮城県分会からの活動報告。

大塚委員からの発言



・ 福島県分会からの活動報告。
・ レクに職場の若手を誘い組織拡大につなげていく。

・ 2月1日総務グループ変更は事前の説明が足りないために苦勞している。

菅野委員からの発言



・ 未加入者やグループ会社社員へ交済共済への加入を促進しよう。

・ 業務委託先の問題を解決するため窓口を明確にしよう。

・ 高齢化対策と働き方改革を。

成田委員からの発言



・ エルダー制度について、勤務先の提示が遅い。

・ 社友会について

・ 2月の事務の集約と簡素化は事前説明が少ない。



交済共済加入促進

契約期間7/1〜翌年6/30

組合員宅へ新規および継続のパンフレットが送付されています。組合員とその家族を守るため火災共済・生命共済・交通災害共済の未加入の方は加入を、既加入の方は継続と増口をお願いします。

JR私傷病共済加入募集

事業年度8/1〜翌年7/31

1口 4,000円(2口まで)

※詳細は役員まで